

氏名	<del>〇〇</del>	<del>〇〇</del>	添削履歴	2回目
部門、科目	建設	<del>〇〇</del>	作成日	H27.3.22

8

	業務名	職務内容	物件規模、形式	応用技術、貢献	成果	総文
1	<del>〇〇</del> 線落石対策工	設計。	60箇所 重量石落下 危険区間( )	エネルギー吸収構造柵を導入し	従来比2倍(100KJ)の落石を捕捉可能とした。0%UP	54
2	<del>〇〇</del> 駅 <del>〇〇</del>	調査、設計。 計画	<del>〇〇</del> 駅 <del>〇〇</del> から	<del>〇〇</del> 式防雪柵を上向きに設置することで 新式で	吹溜まり発生率を70%解消。 00%スト0%カット	51
3	<del>〇〇</del> 線 <del>〇〇</del> 区間擁壁復旧	設計。	延長98mの変状擁壁を	アンカーによる固定と擁壁増打ち工法で仮土留設置を省き 省カビシ/合理化し	工期を30日短縮。	62
4	<del>〇〇</del> 線 <del>〇〇</del> 間路盤の	調査、設計。	〇〇mを	地下水低下と耐凍上性盛土材置換による	対策方針を決定。 経済性0%UP 維持管理費0%減	50
5	<del>〇〇</del> 湖線 <del>〇〇</del> 間盛土	設計。	60mの盛土構築を無徐行で施工するため	鋼矢板による築島工を応用した土留で	徐行を50日短縮。 工期0%短縮	61